

幌延町多世代交流施設に係る意見聞取り概要 1

令和 6 年 9 月 3 日 まちづくり常任委員会 説明 1

1 聞き取った意見の概要

令和 5 年 1 1 月開催の第 1 回創生会議から、令和 6 年 5 月 2 9 日までの間に創生会議構成団体に対して行った、多世代交流施設の整備に関する意見の聞き取り概要は次のとおりです。

(1) 施設の整備について（資料 2：聞取り概要 P 1～P 3）

「多世代が交流できる施設は魅力的」「子どもから高齢者まで気軽に友達同士で集まって話したりできる場所があると良い」などの肯定的な意見の他、人口が減る中で整備の必要性を問う意見や、お風呂の建て替えのみで良いとの意見に加え、機能の詰め込みすぎを懸念する意見、既存施設と重複する機能の削除を求める意見がありました。

整備にあたっては、「もっと町民の声を聞いて、町民の求めるもの、使いやすいものを建ててほしい」との意見があった他、「施設を使う人の意見を聞きながらつくった方が良い」「今後施設を長く使うこととなる若い人の意見を大事にした方が良い」との意見がありました。

(2) 整備場所について（資料 2：聞取り概要 P 4～P 6）

創生会議や構成団体等へ役場周辺の町有地内で六つの案を示して意見を求めました。

創生会議では、「案 1 から案 4 は役場と繋がっているので管理を考えると良い」「バスの往来や駐車スペースを考えると案 3 や案 4 になる。案 1 は車庫の撤去が必要で案 2 は日当たりが悪く駐車スペースがかなり狭いが、誰にも迷惑をかけないのであれば案 2 となる」「案 5 の場合は役場と生涯学習センターの駐車場を使える。場所が決まらなると何も決まらない。建設に向けて撤去や移動が関わるのは案 1 と案 3。案 2 と案 5 が撤去等の費用がかからず建設が可能。どちらかに決めたらどうか」との意見がありました。

構成団体との懇談では、「役場職員住宅が老朽化し、将来的に住めない住宅になるのであれば、案 3 や案 4 が良い」「老人福祉センター跡を駐車場とするなら案 6 が良い」「新しい施設は役場の横に建てると聞いたが、幌延市街地の中心である案 6 が良い」との意見があった他、「市街地内をバスで移動することもないのでどこに建てても同じ」との意見がありました。また、「役場へ接続した方が機能的」との意見の他、「便利にはなれると思うが、お金をかけるだけの施設となるか」との意見もありました。

創生会議では、案 3、案 4 の割合が高く、構成団体との懇談では案 6 での整備を求める意見が多数を占めました。



(3) 管理・運営について（資料２：聞取り概要Ｐ７～Ｐ８）

施設の開放時間や利用時間、自販機等による販売への赤字補てん等に関する質問の他、関係各課各係への聞取りにおいて「町では、問寒別の集落支援をモデルとして実施しているが、幌延側もそのモデルを当てはめて行う旨説明している。運営主体は決まっているのか」との質問もありました。

また、「施設は福祉性の強いものとなることから、管理・運営は社会福祉協議会が適している」との意見により、社会福祉協議会事務局やヘルパー職員から、新しい施設への移転や管理について聞取りを行いました。社会福祉協議会では「３～４年前に保健センターの移転や高齢者住宅の整備が話題となり、その際、社協も合わせて移転する話しがあった」とのことでした。なお、創生会議において、「浜頓別町の道の駅等では商工会が施設の管理・運営を行っている。町にもそのような考えがあるのか」とオブザーバーから質問がありました。

(4) 生活支援機能について

① コンビニエンスストア（資料２：聞取り概要Ｐ９）

「コンビニやコインランドリーは役場が整備するものではない。町民アンケートで町民から意見があったものとして整理し、検討を進めた方が良い」との意見があった他、創生会議では、「既存のコンビニのことも考え、検討が必要。町の業者が生き残れるように考えるべき」との意見が出されました。また、構成団体との懇談では、「既存のスーパーや販売業、飲食店へ与

える影響が大きすぎるため、コンビニの新規出店は反対」など、コンビニ設置に反対する意見が多数を占め、設置を求める意見はありませんでした。

② 飲食について（資料２：聞取り概要P 1 0）

施設内における飲食の提供については、町民アンケートや役場内での検討において、基本構想（素案）にあがっておりますが、コンビニの設置で充足できるものとして整理していましたが、創生会議や構成団体との懇談では、「コンビニではなく、ちょっとした売店があればよい」「憩いのスペースをつくるのであれば、最低限ジュースやホットスナック、カップラーメンの自販機など、こじんまりとしたものがあるだけでも良いと思う」等、コンビニ設置の代案として売店や自販機の設置に関する意見があった他、「軽食等を提供するにも人手不足のため、役場職員を配置することはできないと思う。町民がボランティアのような形で常駐するなら良い」「軽食の提供まで行わなくても自販機の設置で間に合う」等の意見がありました。また、「キッチンカーなどを連れてくるのはどうか」との意見もありました。

③ コインランドリーについて（資料２：聞取り概要P 1 1）

「コンビニよりもコインランドリーがほしい」「コインランドリーは必要」との意見があった他、前述したように「コンビニやコインランドリーは役場が整備するものではない。町民アンケートで町民から意見があったものとして整理し、検討を進めた方が良い」との意見がありました。また、採算性を心配する意見もあり、出店目安や維持管理経費等に関する資料をいただきました。

④ 多目的スペース（資料２：聞取り概要P 1 2）

設置に対する肯定的な意見や否定的な意見はなく、「幌延には自宅以外で友だちと会うスペースがないと思うので、カフェでなくてもジュースや食べ物の自販機が設置してあって、中学生が自由に友だちとおしゃべりできるような場所があると良い」等、使い方に対する意見がありました。

⑤ 会議室について

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

⑥ 温浴施設について（資料２：聞取り概要P 1 3）

「男湯、女湯のほかに家族風呂があるとよい」との意見があった他、「入浴施設については、個人的にサウナを充実させることで、中高年も若者も集まると思うので、力を入れてほしいと希望する」「家族風呂を作るよりも、そのスペースでサウナを広くすれば良い」「水風呂が狭い」などサウナに関する意見も多くありました。また、問寒別小中学校PTA役員会との懇談に

において「問寒別の人には公衆浴場の存在を知らない人も多い。問寒別の人であっても入りやすい施設であると良い」「公衆浴場は何時までか？遅くまで営業していると問寒別の人にも通いやすい」との意見がありました。

⑦ ゆったり駐車場

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

⑧ 電気自動車充電設備について

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

⑨ Wi-Fi機能、無料充電設備について

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

(5) 観光情報等発信機能について

① 観光案内について（資料2：聞取り概要P14）

「拠点が町民向け施設であれば観光案内所は不要ではないか」との意見の他、「幌延町移住情報PR支援センター（ホロカル）は町民の利用も増えてきている。ホロカルは幌延駅にあり、市街地から離れているため足腰が弱い方には行きにくい場所にある。役場の近くにあれば、町民の方の利用が増えると思う」等の意見がありました。

② 移住定住情報について

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

(6) 保健福祉機能について

① 保健福祉課執務スペースについて（資料2：聞取り概要P15）

平成31年10月に行った、保健センターから役場庁舎内への保健師執務場所の移動に対する質問が多かった他、「なぜ保健師を役場に移動させたのかかわからない。現保健センターは保健センターで良い場所と思う。新しい施設に移転させるなら、現保健センターに戻したらよい」との意見や、社会福祉協議会事務局からは「利用者を役場に連れて行ってそれぞれの用事を足すことを考えると、役場内で用事を済ませられた方が基本的には楽で、保健福祉課だけいなくなってしまうと、利用者からは面倒くさがられるかもしれない」との意見がありました。

② 乳児・乳幼児広場について（資料2：聞取り概要P16）

構成団体との懇談では、山村広場の遊具に対する意見があった他、子どもの遊び場がないので整備を求める意見がありました。また、公園等屋外での整備を求める意見もあった他、「今回の拠点に含まれる遊具とは別に老人福

祉センターを解体した跡地に子どもが遊べる屋内施設を作ればよい」「消滅可能性のある自治体が増える中、人口が増えている町は子どもを大事にする取組みを進めている町だと聞いたことがある。幌延町も、もっと子どもにお金を使うべき」との意見もありました。

③ 多世代交流・休憩スペースについて

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

④ 保健センター機能移転について（資料２：聞取り概要P 17）

機能移転後の保健センターの利活用に関する質問があった他、移転に疑問を呈する意見もありました。その他、「現保健センターは、検診などの際に駐車スペースが不足していると感じるので、拠点に移転することによって駐車スペースが広がるのであれば良いと思う」との意見もありました。

⑤ 授乳室について

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

⑥ 検診室、診察室について

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

⑦ 検診車駐車スペースについて

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

⑧ 健康増進スペースについて

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

(7) 高齢者福祉機能について

① カフェスペースについて（資料２：聞取り概要P 18）

「買い物帰り等の際、ちょっと寄ってコーヒーを飲みながらも、おしゃべりできる場所があれば良い」「高齢になり、ひとり暮らしになると心細くなる。まちいちカフェのようにみんなが集まっておしゃべりできる場所があるのはありがたい」との意見がありました。また、(4)生活支援機能について②飲食の部分（資料１：聞取り概要P 10）で整理していますが、「コンビニが難しいとすれば、サービスエリアにあるようなコップに注がれるコーヒーやココアなどの販売機や、ポテトなどのホットスナックを購入できるような販売機を設置し、座るところがあれば、カフェのようなものになるのではないかと」の意見もありました。

② 多目的スペース（和室）について（資料２：聞取り概要P 19）

老人福祉センターの機能回復室等で会合を行っている老人クラブの利用を主として考えているスペースですが、「機能回復室（老人クラブ会合開催場所）は、老人クラブとして月２回定期的に使用しているが、他の団体や休憩場所として利用されていないので、新たに整備する施設では、多目的ホール・憩いの場のような空間が１つは必要だと思う。その中で老人クラブが間仕切りして使用したり、別団体が会議したりで、誰も来ないただ広いような空間は燃料の無駄になってしまうので整備しなくてよい」「老人クラブの会合をするには、機能回復室と給湯室があれば十分」との意見がありました。また、「２階建てでエレベーターが整備されるのであれば、老人クラブの拠点は２階でも問題ない」との意見もありました。

③ 多目的スペース（パブリックビューイングスペース）について（資料２：聞取り概要P 20）

「パブリックビューイングでは、子ども向け映画を上映しても良いのでは」との意見がありました。

④ 相談室について

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

⑤ 調理実習室について（資料２：聞取り概要P 21）

「調理実習室など保健センターにあるものを、新たに設ける必要はないのではないか。既存の施設の機能と重複しないように検討すべき」との意見がありました。

(8) 交通拠点機能について

① バス待合所（資料２：聞取り概要P 22）

「バス停（３南１は）は今の場所だとデメリットがあつての移設か？」「バス停は２４時間利用可能か？」等の質問があつた他、意見はありませんでした。また、関連する公共交通に関する意見として「まちなかに拠点を設置した場合、町内巡回バスのようなものの運行は予定しているか？通院、風呂の利用回数を考えると現在配布しているタクシーチケットでは不足すると思う。せっかくであれば町民が利用しやすい形態を」「問寒別地区住民数人で公衆浴場に行きたいと考えているが、患者輸送車両の運行時間では用を足すことができず、地域内交通も問寒別地区内での運行に限定されていて、行く手段がないので週１度くらいの頻度で問寒別地区～公衆浴場間のバスを出してほしい」との意見がありました。

(9) 防災機能について

① 備蓄庫（防災資機材庫）について

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

② 福祉避難所について（資料２：聞取り概要P 2 3）

「新しい小中学校でも避難所機能の話があった。その辺は重複しないのか」との質問がありました。

③ 非常用発電設備について

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

(10) その他

① 再生可能エネルギー発電設備について

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

② リチウムイオン蓄電池について

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

③ トイレについて

創生会議や構成団体との懇談で、意見はありませんでした。

(11) 追加で意見のあった設備、機能について（資２：聞取り概要P 2 4）

不審者対策に対する防犯カメラの設置、駐車場内での事故も多いことから施設周辺への横断歩道や信号機の設置、宅配ボックス、喫煙所、音楽スタジオ、100円ショップ、ドラッグストア、宿泊する場所、トラックステーション、道の駅的な役割等の意見がありました。

2 意見聞き取り概要のまとめ

創生会議や構成団体との懇談及び関係各課各係への聞取りの結果を基に施設整備を進めた場合、コンビニやコインランドリー、保健センター機能や保健福祉課の移転は除き、温浴設備やカフェスペース等の多目的スペース、バス待合所を配置した施設となります。また、子どもの遊ぶ場所が少ないため整備が必要との意見が多く、本施設の整備とは別に、屋外遊具の整備を考慮する必要があります。

整備場所は、創生会議で意見が多かったのは案３・案４か案５、構成団体との懇談時に最も意見が多かったのは案６となります。

なお、施設の整備概要は次ページのとおりです。

概算延床面積比較表

単位：m²

区分	当初		意見等聞取り後		備考
	整備内容	床面積	整備内容	床面積	
	生活支援機能		生活支援機能		
新	コンビニエンスストア	200			
新	コインランドリー	50			
新	多目的スペース(サードプレイス)		多目的スペース(サードプレイス)		カフェスペースと共用
複	会議室	90	会議室	90	大会議室と同規模(93.7m2)
複	温浴施設	200	温浴施設	200	既存は173.5m2
複	温浴施設(ボイラー)	40	温浴施設(ボイラー)	60	既存は42.8m2
外	ゆったり駐車場		ゆったり駐車場		
外	電気自動車充電設備		電気自動車充電設備		
外	Wi-Fi機能		Wi-Fi機能		
外	無料充電設備		無料充電設備		
	観光情報等発信機能		観光情報等発信機能		
複	観光案内	50	観光案内		バス待合所に案内を掲示
複	移住定住情報		移住定住情報		
	保健福祉機能		保健福祉機能		
複	保健福祉課執務スペース	100			
複	乳児・乳幼児広場	200	乳児・乳幼児広場	200	幌学習セ中庭と同規模(201.3m2)
複	多世代交流・休憩スペース		多世代交流・休憩スペース		
外	授乳室		授乳室		置き型設置(20m2 程度)
複	検診室	20			
複	診察室	20			
外	検診車駐車スペース				
複	健康増進スペース	200			
	高齢者福祉機能		高齢者福祉機能		
新	カフェスペース	150	カフェスペース	150	サードプレイスと共用 大会議室+小会議室(144.7m2)
複	多目的スペース(和室)	80	多目的スペース(和室)	80	老セ機能回復訓練室と同規模 (82.32m2)
新	多目的スペース(パブリックビュー イングスペース)	150	多目的スペース(パブリックビュー イングスペース)	150	大会議室+小会議室(144.7m2)
複	相談室	20	相談室	20	町民相談室と同規模(18.5m2)
複	調理実習室	60	調理実習室	60	保セ学習指導室と同規模(58.6m2)
新	会食スペース	60	会食スペース	60	保セ学習指導室と同規模(58.6m2)
	交通拠点機能		交通拠点機能		
新	バス待合所		バス待合所	50	観光・定住案内掲示 小会議室と同規模(51m2)
	防災機能		防災機能		
新	備蓄庫(防災資機材庫)	40	備蓄庫	40	幌学習セ物品庫と同規模(39m2)
外	福祉避難所		福祉避難所		
複	非常用発電設備	120	非常用発電設備	120	役場機械室一角と同規模(121m2)
	その他		その他		
外	再生可能エネルギー発電設備		再生可能エネルギー発電設備		
外	リチウムイオン蓄電池		リチウムイオン蓄電池		
複	トイレ(男)	20	トイレ(男)	20	幌学習セ(15.9m2)
複	トイレ(女)	20	トイレ(女)	20	幌学習セ(15.9m2)
複	トイレ(多目的)	10	トイレ(多目的)	10	幌学習セ(9m2)
複			事務スペース(90m2×3 室)	270	1室、総務財政課と同規模(90m2)
	合計	1,900	合計	1,600	
新	新しい機能分	700	新しい機能分	450	
複	複合する機能	1,200	複合する機能	1,150	

※ 区分欄における「新」は既存施設にはない新しい機能やスペース。「複」は既存施設と複合する機能やスペース。「外」は延床面積に合算しない機能やスペース。